

## 古きを訪ねる難しさと温故知新の楽しみ

私の知友の永峰 英太郎氏が「家系図を作る」(自由国民社)という著書  
を出版されました。

同氏の2世代前は日本におけるセルロイド加工業の分野でパイオニアと  
してご活躍され、ご一族はそれぞれセルロイド製品の製造を家業と  
して経営されていきました。

残念なことに英太郎氏はご祖父をはじめとしてご一族の歴史や業績など  
についてお父上から聞いておらず、ご自身が悪戦苦闘してご自身の家系  
の調査を進める過程で、セルロイドをキーワードとしてたまたま  
検索の結果私共とのコンタクトが始まりました。  
数世代前に遡る家系調査作業はいかに難しいかまた先行する一次資料が  
乏しく入手に著しく困難が伴うかが実感されました。

このご経験を生かして家系の調査に限らずほかのテーマの探索でもまた  
産業社会文化遺産等の実地調査を行うメソドロジーとしても役立つ  
一助になればとの思いが出版の動機とのことです。

私共もセルロイドに関する調査を進めていますが産業自体が衰退  
段階に差し掛かり資料入手が困難をきたしています。  
また関係者の方々がすでに鬼籍に入られオーラルインタビューの  
機会も年々減少しています。  
今後多くの学問的分野だけでなく近現代の産業文化社会遺産等の  
調査研究も難しくなるものと思われまます。

この観点から若い方々が温故知新の精神で失われていく有形、無形の  
情報資産を調査し、現代によみがえさせる活動に果たす役割はますます  
重要となります。

私は永峰 英太郎氏の「家系図をつくる」に投じた真摯な努力に深く  
敬意を払い、セルロイドサロンの読者の皆様方に推薦いたす次第です。  
書評コーナーで副館長の松尾 和彦氏が詳細にご紹介する予定です。